

例3：5・6ページ参照

履 歴 書 (その1)			氏 名	金 竜 作	
年	月	日	居 住 関 係	学 歴・職 歴	身 分 関 係
昭35	4	18	大韓民国慶尚南道晋陽郡文山面安全里○番地		出生
40	9	2	父母と渡日、横浜市戸塚区幸町○番地 (51.3まで)		
42	4			市立五幸小学校入学	
48	3			同校卒業	
〃	4			市立第一中学校入学	
51	3			同校卒業	
〃	4		東京都新宿区柏木○丁目○番地に移転 (61.8まで)	私立松木高等学校入学	
54	3			同校卒業	
〃	4			昭和食品(株)入社 営業担当	
61	9		東京都北区東十条○丁目○番地に移転 (平5.8まで)		韓国人姜和子と事実婚
62	8	20			上記 婚姻届出
平5	3	16			母死亡
〃	9		東京都中野区野方○丁目○番○号メゾン○○301号室に移転(現在まで)		
7	3			前記会社退職 平10.3月まで(株)石山工業 でアルバイト	
9	5	26			長女 信子出生
10	4	1		東京寿商事(株)入社 営業担当	
22	4	1		第一営業部販売課長 (現在まで)	

(注) 1 「年」については、日本の元号で記載する。

2 履歴事項については、古い年代のものから漏れなく記載する。例えば、学歴については、転校、中途退学、卒業の学部等についても記載し、職歴（本国での職歴や日本に入国した後に行ったアルバイト歴も含む。）については、勤務先だけでなく、担当した職種についても記載する。

また、身分関係については、父母の死亡及び事実婚についても記載する。

3 用紙が不足する場合には、同一用紙を用いて記載する。

4 この書面は、申請者ごとに作成するが、15歳未満のものについては、作成することを要しない。